

宮澤喜一 宮澤喜一記念館

宮澤喜一氏と出会う談話室

官僚や政治家として、日本の戦後復興と経済成長を牽引し、日本を世界が注目する国へと復活させた重要なキーパーソンである宮澤喜一氏。「宮澤喜一氏と出会う談話室」をコンセプトに、同氏の功績や人間的魅力を印象深く伝え、その生涯、功績と人間的魅力を紹介しています。



ミヤザワタイムス

生涯の中で節目となった出来事・功績などを写真で紹介

MIYAZAWAシアター

宮澤氏にまつわる5つのテーマを映像で紹介

みやざわボックス

愛用していたゆかりの品など4つの展示ケースで展示

宮澤喜一ストーリー

87年間の生涯と功績を年表形式で紹介

宮澤喜一氏 略歴

1919年(大正8年)東京生まれ(本籍地:広島県福山市金江町)。1953年(昭和28年)参議院議員に初当選し、1967年(昭和42年)からは衆議院議員として活躍。1991年(平成3年)には、本市出身として初となる第78代内閣総理大臣に就任するなど、約50年にわたり国政をリードし、我が国の戦後復興と経済成長を牽引した。また、日本鋼管福山製鉄所の誘致や新幹線博多開業に伴う福山駅高架化など、本市の経済発展の基盤づくりにも大きく貢献した。2003年(平成15年)福山市名誉市民に推戴。2004年(平成16年)広島県名誉県民を受賞。

出典:内閣広報室

ACCESS



● JR松永駅下車、徒歩5分
(新幹線福山駅のりかえJR山陽本線下り10分)

● 中国やまなみ街道から山陽自動車道尾道JCT経由で山陽自動車道福山西ICより、車で約10分
● 瀬戸内しまなみ海道西瀬戸尾道ICより車で約15分。
● 国道2号線(案内標識あり)より南へ300m入る。

開館日 金曜日～日曜日及び祝日
年末年始(12月28日～1月3日)は休館

開館時間 午前10時～午後4時
入館は午後3時30分まで

入館料 個人 300円
団体(20人以上) 240円
●はきもの玩具館のみ有料
●高校生以下及び福山市・府中市・神石高原町の65歳以上は入館料無料

駐車場 無料 乗用車 17台
大型バス 4台

松永はきもの資料館
あしあとスクエア

宮澤喜一記念館

〒729-0104 広島県福山市松永町四丁目16番27号
電話:(084)934-6644 FAX:(084)934-7286

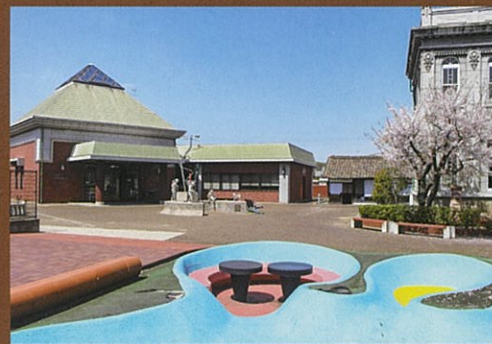
ホームページ:
<https://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/soshiki/matsunaga-hakimono/>

あしあとスクエア

検索



INFORMATION



松永はきもの資料館 あしあとスクエア

Matsunaga Footwear Museum
ASHIATO SQUARE



宮澤喜一記念館

Miyazawa Kiichi Memorial Hall

「はきもの」は身体を支え 「玩具」は心を支える

福山市松永はきもの資料館は、日本はきもの博物館・日本郷土玩具博物館から引き継いだ貴重な資料をはじめ、松永地域の産業を支えた下駄・い草・塩の生産関連の資料の多くを収蔵・展示しています。

旧マルヤマ商店事務所 国登録有形文化財

下駄製造業丸山商店の本店事務所として2代目茂助(丸山松次郎)が、1922年(大正11年)に建てた建物です。洋風建築としての歴史的価値が高く評価され、1996年(平成8年)に広島県で初めての国登録有形文化財となりました。



職人長屋

1919年(大正8年)頃に建てられたものを展示しています。かつては職人たちが工場で作られた下駄の半製品の仕上げを手作業で行っていました。当時は資料館の敷地内に62戸が軒を連ね、工場の名から「丸山長屋」とも呼ばれていました。



足あと広場

1970年(昭和45年)に開催された大阪万国博覧会でシンボルトワーの「太陽の塔」を制作するなど、世界的な芸術家である故岡本太郎氏が、1978年(昭和53年)に日本はきもの博物館の開館にあわせて、男女の足あとを主題に制作しました。



はきもの 人と大地の接点 (第1・2展示室)

日々の暮らしの中で発展してきた様々なはきものを、労働・信仰と儀礼・芸能などのテーマ別に展示しています。

- 下駄・わらじ・草履
- 労働とはきもの
- 世界のはきもの
- 芸能と遊びのはきもの 他



日本と世界の
はきもの資料
約13,000点
収蔵

収蔵資料のうち
国重要有形民俗文化財
はきものコレクション
2,266点



伝統産業 伝統産業館

- 下駄産業
- い草産業
- 塩業



松永地域の産業を支えた、下駄・い草・塩の生産関連の資料を時代の変遷を追って展示しており、地域産業の歴史を継承しています。伝統産業館は旧丸山下駄工場を改修したもので、下駄製作の機械などは当時とほぼ同じ状態で展示しています。

郷土玩具 各地に伝わる伝統とぬくもり(第3~5・7展示室)

各地方で祈りと願いを込めて作られ、人々の心のやすらぎの象徴であった郷土玩具を展示しています。

- 玩具と縁起
- 天神さま
- ふるさとの玩具
- カチナ人形 他



日本全国から
世界まで特色ある
郷土玩具資料
約18,000点
収蔵

米国アリゾナ州の
先住民、ホビ族の
精霊人形「カチナ人形」
国内最大コレクション
324点を展示

